

平成20年度の活動について



6月2日 第1回協議会

平成20年度の事業計画について協議し、モデル施策の実施や地域フォーラムを開催することを決定しました。新規モデル施策は、真岡市コミュニティバス運行調査の実施、市貝町「芝ざくら祭り」時の渋滞緩和策の検討の2つを計上しました。

また、JR宇都宮駅及び東武宇都宮駅の視察を行い、通勤者、観光客及び車椅子利用者の3つの視点から、課題や改善策について、意見交換を行いました。



《駅視察の様子》

8月9日 芳賀町モデル施策(イベントに合わせた臨時バスの運行)

芳賀町の現状

路線バスが年々減少し、交通渋滞が激しい花火大会に公共交通の利用を呼びかけようとしても、宇都宮駅に帰るバスがないといった現状があります。

モデル施策の内容

昨年に引き続き、花火大会終了後に、JRバス関東による臨時バスを運行するとともに、これをPRするチラシを作成、配布し、公共交通による来場を呼びかけました。



《臨時バスPRチラシ》

モデル施策の成果

37人が利用(昨年比14名増)し、利用促進の効果が見られました。

10月1日 第2回協議会

モデル施策の実施結果及び今後の実施概要について、各市町から報告を行いました。

また、第1回協議会で行った駅視察を踏まえ、JR宇都宮駅の公共交通の案内充実及び西口ロータリーの適正な利用並びにバスの分かりやすい行先案内について、ワーキンググループで具体的な検討を進めていくこととしました。

また、市貝町「芝ざくら祭り」時渋滞緩和策についても、ワーキンググループで具体的な検討を進めていくこととしました。

10月1日～12月19日 真岡市モデル施策(コミュニティバス運行調査)

真岡市の現状

真岡市では、路線バスの廃止による交通空白地域の公共交通確保が課題となっています。

モデル施策の内容

公共交通の利用実態を調査し、今後の市域における公共交通を検討するために、コミュニティバスによる公共交通運行調査(アンケート)を実施しました。

モデル施策の成果

利用者の90パーセント以上が新たな公共交通に対する利用意向を示しました。

今後、事業について、引き続き検討を進めていくこととしました。

10月11/12日 鹿沼市モデル施策(市営バス無料デーのPR)

鹿沼市の現状

路線バスの廃止等に伴い市営バス(リーバス)を運行していますが、その利用促進が課題となっています。

《リーバスPRポケットティッシュ》



モデル施策の内容

昨年度に引き続き、鹿沼市がリーバスの利用促進策として実施した、秋祭り時の「リーバス無料デー」をPRするポケットティッシュを作成、配布しました。

モデル施策の成果

利用者数は、昨年同時期から13パーセント増加しており、バス周知について、一定の成果が得られました。

3月26日 第3回協議会

モデル施策の実施結果について、各市町から報告を行いました。

また、ワーキンググループの実施結果を踏まえ、意見交換を行いました。

市貝町「芝ざくら祭り」時渋滞緩和策検討ワーキンググループでは、来年度、実際に渋滞状況を視察することになりました。

JR宇都宮駅利用環境整備検討ワーキンググループでは、(1)改札口付近及び風除室の床面案内表示の充実、(2)観光案内所での交通事業者によるバス案内の試験実施、(3)バス会社3社共通系統番号の導入、(4)西口ロータリーのバス・タクシー・一般車が錯綜する現状の改善などについて、検討を行いました。

また、平成21年度は、平成17年から平成20年度までの取組を踏まえ、新たな利用促進策について検討することや、地域フォーラム等意識啓発活動を継続して実施していくことを決定しました。